



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日
東・福

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所
 コード番号 2924 URL <https://ifuji.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	19,506	33.4	1,639	45.7	1,679	45.2	1,469	84.2
2023年3月期第3四半期	14,619	6.9	1,125	3.3	1,156	3.9	797	△5.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,494百万円(86.8%) 2023年3月期第3四半期 800百万円(△4.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 177.97	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	96.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 15,391	百万円 9,557	% 62.1
2023年3月期	13,669	8,430	61.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 9,557百万円 2023年3月期 8,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 14.00	円 銭 —	円 銭 21.00	円 銭 35.00
2024年3月期	—	26.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	22.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭(創立50周年記念配当)

(注) 配当予想については、本日(2024年2月13日)公表しました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,865	19.0	1,798	14.1	1,844	14.2	1,582	41.8	191.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 業績予想については、本日(2024年2月13日)公表しました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	8,345,370株	2023年3月期	8,345,370株
2024年3月期3Q	82,656株	2023年3月期	101,556株
2024年3月期3Q	8,254,833株	2023年3月期3Q	8,230,540株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により景気は緩やかな回復傾向にあるものの、不安定な世界情勢や円安等による資源価格及び物価の上昇等、景気の先行きには注視が必要な状況にあります。

食品業界におきましては、原材料価格や製商品価格の値上げが相次ぎました。また、鶏卵業界では、2022年秋から2023年初頭にかけて発生した過去最大規模の鳥インフルエンザの影響により、2023年10月まで鶏卵相場が高水準で推移しました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、液卵関連事業において鶏卵相場が前年同期比+32.4%となったこと、また販売価格の改定を進めたこと等により前年同期比33.4%増の19,506百万円となり過去最高となりました。

損益につきましては、主に売上高の増加等により連結営業利益は同45.7%増の1,639百万円、連結経常利益は同45.2%増の1,679百万円となり、いずれも第3四半期連結累計期間において過去最高となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益等の増加に加え、当社所有の土地の収用に伴う収用補償金の計上、また役員退職慰労金の支給により課税所得が減少し法人税等が低く抑えられたことから、同84.2%増の1,469百万円となり過去最高となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①液卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵の販売単価及び原料の仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多くあり、鶏卵相場が高く推移した場合は販売単価及び仕入単価はともに高く推移します。逆に、鶏卵相場が低く推移した場合は販売単価及び仕入単価はともに低く推移します。そのため、販売単価と仕入単価の差益の一定額以上の確保と販売数量の確保により利益が最大になるように努めております。

当セグメントにおける売上の指標である販売数量につきましては、前年同期比7.9%減となりました。これは主に、上期において極度の鶏卵不足の中、当社の液卵供給に対し取引条件等を見直した結果、一部の得意先に販売数量の制限を行ったことや既存の得意先への供給を優先するために新規拡販を控えたこと、また、得意先である食品メーカーにおいて液卵調達への懸念から液卵の使用量を減らしたこと等によるものであります。

売上高につきましては、販売数量は減少したものの、鶏卵相場（全農東京Mサイズ基準値）が前年同期比+32.4%（+74円/kg）と大幅に上昇したことに伴い、連動する液卵の販売単価も上昇しました。また、人件費や光熱費の上昇を始めとする様々な製造コストの増加や、鳥インフルエンザ多発に伴う鶏卵の供給不足による原料仕入価格の高騰、さらに得意先からの要請を受けて極力安定供給に努めるべく輸入卵を含む割高な原料を買い付けたことに伴い、販売価格の改定を進めました。その結果、液卵売上高は前年同期比38.6%増の17,561百万円となりました。また、加工品売上高は、ゆで卵や茶碗蒸しベースの販売価格の改定等により同25.3%増の747百万円、その他売上高は鶏卵販売の減少等により同50.3%減の262百万円となりました。この結果、当セグメント合計の売上高は同34.6%増の18,571百万円となりました。

セグメント利益につきましては、前述のとおり販売価格の改定を行ったことに加え、製造コストの増加に対応するため工場の生産効率の向上や歩留まりの向上に努めるなど、業績を向上させるべく様々な施策を講じた結果、同48.4%増の1,573百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、原料仕入価格の値上がりに対応するため販売価格の改定を進めたことや、当社グループ内での卵白プロテインの委託加工等の販売増加及び健康食品等の付加価値商品向けの販売増等により、前年同期比19.6%増の1,137百万円となりました。

セグメント利益につきましては、前述のとおり売上高が増加したこと等により同1.8%増の54百万円となりました。

③その他

当セグメントは太陽光発電であり、売上高は前年同期比1.2%減の19百万円となり、セグメント利益は同1.2%増の12百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は15,391百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,721百万円増加しました。

流動資産は10,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,803百万円増加しました。主な要因は、上期に鶏卵相場が大幅に上昇したことに伴う在庫単価の上昇や今後の鳥インフルエンザ発生に伴う供給不足に備えて製品在庫を積み増したこと等による商品及び製品の増加2,189百万円のほか、原材料及び貯蔵品の増加340百万円、受取手形及び売掛金の増加389百万円、現金及び預金の減少1,284百万円等によるものであります。

固定資産は5,066百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の増加167百万円、機械装置及び運搬具の減少95百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は5,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ594百万円増加しました。

流動負債は5,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,423百万円増加しました。主な要因は、在庫の積み増し等に伴う運転資金需要増による短期借入金の増加1,769百万円のほか、未払法人税等の減少281百万円等によるものであります。

固定負債は481百万円となり、前連結会計年度末に比べ829百万円減少しました。主な要因は、長期未払金の減少516百万円、長期借入金の減少315百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は9,557百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,127百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,469百万円の計上等により利益剰余金が1,081百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績の状況及び今後の見通し等を勘案し、2023年8月9日に公表いたしました2024年3月期の通期業績予想について修正しております。

詳細につきましては、本日(2024年2月13日)公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,668	2,383
受取手形及び売掛金	3,630	4,019
商品及び製品	643	2,832
仕掛品	89	50
原材料及び貯蔵品	491	831
その他	28	222
貸倒引当金	△30	△15
流動資産合計	8,520	10,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,644	1,812
機械装置及び運搬具（純額）	1,158	1,062
土地	1,915	1,857
リース資産（純額）	6	5
その他（純額）	124	65
有形固定資産合計	4,849	4,803
無形固定資産		
投資その他の資産	6	5
投資有価証券	129	169
繰延税金資産	151	69
その他	16	23
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	292	257
固定資産合計	5,148	5,066
資産合計	13,669	15,391
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,272	1,485
短期借入金	960	2,729
リース債務	1	1
未払法人税等	366	85
賞与引当金	183	145
その他	1,143	903
流動負債合計	3,927	5,351
固定負債		
長期借入金	708	393
リース債務	5	4
長期未払金	562	46
その他	34	37
固定負債合計	1,311	481
負債合計	5,239	5,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	392	400
利益剰余金	7,607	8,688
自己株式	△65	△53
株主資本合計	8,389	9,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40	66
その他の包括利益累計額合計	40	66
純資産合計	8,430	9,557
負債純資産合計	13,669	15,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	14,619	19,506
売上原価	11,812	16,092
売上総利益	2,807	3,414
販売費及び一般管理費	1,682	1,774
営業利益	1,125	1,639
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
受取保険金	—	9
受取賃貸料	17	16
その他	16	18
営業外収益合計	36	47
営業外費用		
支払利息	4	7
営業外費用合計	4	7
経常利益	1,156	1,679
特別利益		
収用補償金	—	207
特別利益合計	—	207
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,156	1,886
法人税、住民税及び事業税	341	346
法人税等調整額	18	71
法人税等合計	359	417
四半期純利益	797	1,469
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	797	1,469

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	797	1,469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	25
その他の包括利益合計	2	25
四半期包括利益	800	1,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	800	1,494
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	液卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,798	801	14,599	20	14,619
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	149	149	—	149
計	13,798	950	14,748	20	14,769
セグメント利益	1,059	53	1,113	12	1,125

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,113
「その他」の区分の利益	12
四半期連結損益計算書の営業利益	1,125

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	液卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,571	914	19,486	19	19,506
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	222	222	—	222
計	18,571	1,137	19,709	19	19,729
セグメント利益	1,573	54	1,627	12	1,639

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,627
「その他」の区分の利益	12
四半期連結損益計算書の営業利益	1,639

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	液卵関連事業	調味料関連事業	計		
液卵	10,345	—	10,345	—	10,345
凍結卵	2,328	—	2,328	—	2,328
卵加工品	596	—	596	—	596
その他鶏卵関連	527	—	527	—	527
調味料	—	801	801	—	801
その他	—	—	—	20	20
顧客との契約から生じる収益	13,798	801	14,599	20	14,619
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,798	801	14,599	20	14,619

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	液卵関連事業	調味料関連事業	計		
液卵	14,285	—	14,285	—	14,285
凍結卵	3,275	—	3,275	—	3,275
卵加工品	747	—	747	—	747
その他鶏卵関連	262	—	262	—	262
調味料	—	914	914	—	914
その他	—	—	—	19	19
顧客との契約から生じる収益	18,571	914	19,486	19	19,506
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	18,571	914	19,486	19	19,506

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。